SUS329J1 (二相ステンレス標準)

SUS329J1 (二相ステンレス標準)とは、ステンレス鋼に分類される金属の材料です。オーステナイト＋フェライト二相組織。

JIS SUS329J1

最終更新：2026/10/30

7.8 g/cm³
比重（密度）

620 MPa
引張強さ

SUS304・SUS316・SUS430との違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	SUS329J1 (二相ステンレス標準) このページ	SUS304	SUS316	SUS430 (フェライト系ステンレス)
引張強さ	620 MPa	520 MPa	520 MPa	450 MPa
降伏強さ	450 MPa	205 MPa	205 MPa	260 MPa
線膨張係数	—	17.3 µm/m·K	16 µm/m·K	10.4 µm/m·K
熱伝導率	—	16 W/m·K	16.3 W/m·K	26 W/m·K
密度	7.8 g/cm³	7.93 g/cm³	8 g/cm³	7.7 g/cm³
溶接性	—	良い	非常に良い	普通
被削性	—	40 /100	35 /100	50 /100

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- オーステナイト＋フェライト二相組織
- SUS304の2倍の耐力

- 応力腐食割れに強い
- 海水環境に良好な耐食性
- 溶接後も高強度維持

主な用途

- 海水用配管・熱交換器
- 化学プラントタンク
- 橋梁・建築構造
- 製紙プラント
- 食品設備

選び方

SUS304より高強度・高耐食が必要な構造物に。海水環境の定番。

メリット

- 高強度
- 耐SCC
- 耐海水

デメリット

- SUS304より高価
- 熱処理管理必要

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

規格

JIS	SUS329J1

物理的性質

密度	7.8 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

SUS329J1 (二相ステンレス標準)の密度（比重）は？

SUS329J1 (二相ステンレス標準)の密度（比重）は7.8 g/cm³です。

SUS329J1 (二相ステンレス標準)の引張強さは？

SUS329J1 (二相ステンレス標準)の引張強さは620 MPaです。

SUS329J1 (二相ステンレス標準)の降伏強さは？

SUS329J1 (二相ステンレス標準)の降伏強さは450 MPaです。

SUS329J1 (二相ステンレス標準)の主な用途は？

SUS329J1 (二相ステンレス標準)は、海水用配管・熱交換器、化学プラントタンク、橋梁・建築構造などに使われます。